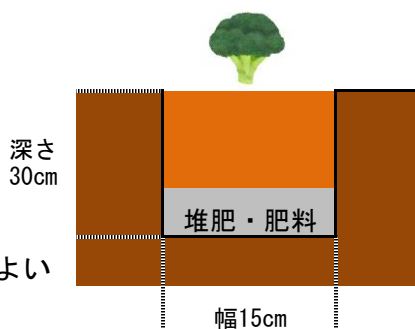


ブロッコリーの上手な育て方講座

① 土づくり (1㎡あたりの量)

- ・牛糞堆肥 3リットル
 - ・肥料 100g
 - ・石灰 100g
- ※石灰は1週間前に施し、耕しておくとい



※畝に溝を掘り、そこに堆肥と肥料を入れ、土をかぶせる。
根が下に伸びる野菜には有効な方法。

② 植え付け

- ・新潟では8月下旬～9月に苗を植え付け、11月頃に収穫します。
- ・①で示したように、畝を作ったら真ん中に溝を作ります。その溝の底に堆肥と肥料を施します。そこに掘った土を戻し、苗を植え付けていきますが、ブロッコリーの根はかなり下に伸びます。下に根を伸ばす野菜には有効なこの方法を、「溝施肥 (みぞせひ)」と言います。
- ・苗の植え付け前に、あけた穴に水を入れておくと、根が張りやすくなります。
- ・株間は60cmほどあけるとよいです。
- ・植え付けたら、防虫ネットでトンネルを作ります。蝶々が飛んできては、葉に卵を産み付けます。それが青虫となり「むしゃむしゃ」と葉を食べていくのです。またアブラムシ対策にもなります。
- ・防虫ネットは隙間ができないように端を土で覆います。
- ・ブロッコリーは大きく育つので、トンネルは50cm程度の高さが必要になります。
- ・収穫の時まで防虫ネットの中で育てます。

③ 追肥

- ・1回目の追肥
本葉が10枚くらいになったら、株間に30g/㎡を施します。また下の葉に土がかからない程度に土寄せも行います。
- ・2回目の追肥
1回目の追肥から20日後に、株間に30g/㎡を施します。また土寄せも行いますが、根に酸素を供給するためにもしっかりと行いましょう。

④ 収穫

- ・ブロッコリーは「頂花蕾 (ちょうからい)」を収穫します。上部に花蕾 (花のつぼみの集合体) が直径15cm程度になったら、茎を包丁等で切って収穫します。
(収穫後に外の葉についている根を抜いてみてください。溝施肥で苗を植えた理由がわかります)
- ・頂花蕾を収穫した後に「側花蕾 (そくからい)」が育ってくる品種もあります。収穫後も2～3週間ごとに追肥を続けます。わき芽が伸び、その先に花蕾がついてきます。

【留意点】

- ・ブロッコリーは①ビタミンCが豊富で風邪予防！②妊婦さんも安心の葉酸が豊富！③抗酸化作用と解毒作用でがん予防！④美肌！⑤ダイエット！等々、すごく体に良い野菜です！！